

琴の音のきらめきと光の舞い。ここに美しい物語が満ちていく。

教春の世界

三舞台&伝統芸能の三曲鑑賞

1. 地唄舞 「こすのど」

舞 古澤侑峯
三絃 本手 跡部教春
三絃 替手 富成清女
尺八 富緒清律
倉橋容堂
鼓 藤舎寿鳳

2. 「かきつばた」

ソロ箏 跡部美香
十七絃 跡部直美
尺八 倉橋容堂
フルート 浅川光美

3. 鑑賞曲 「吾妻獅子」

箏 富成清女
三絃 富緒清律
尺八 倉橋容堂

4. 「海の幸」

箏 本手 跡部教春
箏 替手 室賀利子
管楽合奏 久保田美穂
SACHEE アンサンブル

平成30年12月2日(日) 14:00開演(13:30開場)
長野市 若里市民文化ホール(長野市若里3丁目22番2号) 入場無料

後援: SBC信越放送 信濃毎日新聞社 長野市民新聞社 長野市教育委員会 倉沢音楽教室
お問合せ: 跡部教春 090-5553-6540 kyosyun@biscuit.ocn.ne.jp

教春の世界

三舞台 & 伝統芸能の 三曲鑑賞



跡部 教春 あとべ きょうしゆん

長野県長野市出身。
幼少期より、長野市・徳武種子に師事。
のち当道音楽会副理事長、五代目中島絃教、及び大嶽和久に師事。
現在は、富成清女に師事。

昭和40年から社中として、徳武種子先生追善演奏会、大阪万博、大阪毎日ホール、沖縄での演奏会に出演。
善光寺・大勸進での御懺法講式での献曲、長野県北信三曲協会、鈴慕会などで演奏会出演、現在に至る。
平成15年には、長野市平和音楽祭 出演「組曲・ヒロシマ」を演奏し、好評を博した。

「教春の世界」のタイトルのもと、古典の味と新曲の良さを融合させたステージを毎年繰り広げ絶賛を博す。



富成 清女

とみなり せいじよ

3歳より名古屋国風音楽会、水野花子に師事し、箏曲三絃を習得。12歳にて国風音楽会認定「助教」となる。1961年名古屋CBCラジオオーディション合格。1963年より初代富山清琴(重要無形文化財)に師事し師範となる。大阪・野川流富筋の三絃稀少曲に加えて初代寺島花野(名古屋)の芸系伝承にも努めている。清松会主宰。世田谷三曲協会副会長。



富緒 清律

とみお せいりつ

3歳より箏曲・三絃を母、富成清女に師事。15歳より初代富山清琴(重要無形文化財)に師事。2006～07年京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員。日本三曲協会、生田流協会理事。世田谷子供音楽体験教室事務局長。世田谷三曲ジュニア合奏団指導者。自宅教室のほか、よみうりカルチャー・京王カルチャー教室・東急セミナー BE 講師。



倉橋 容堂

くらはし ようどう

1949年(昭和24年)京都生まれ。初代倉橋容堂(父)と松村蓬盟に師事、琴古流尺八及び古典普及尺八を学ぶ。尺八道場「無住庵」主宰。演奏活動としては尺八独演会を京都・大阪・ニューヨーク・ボストン・サンフランシスコ・パリ・ゲント(ベルギー)、アムステルダム・エルサレム・バミューダ島・北京などで開いてきた。「大阪文化祭奨励賞」「京都市芸術文化協会賞」など受賞。



古澤 侑峯

ふるさわ ゆほう

地歌舞古澤流宗家二代目家元。「地歌舞」を継承し姫路城に伝わった「御殿舞」も修め、古典の発展と普及に努めている。古典以外にも他ジャンルとの融合作品など数々の実験的活動を重ねている。古典作品ではグリーンリボン新人賞、大阪芸術祭賞、京都芸術賞等受賞。企画構成演出作品多数。振り付け作品多数。関東と関西に稽古場を開設。毎年関東と関西で舞の会を主宰している。



浅川 光美

あさかわてるみ

武蔵野音楽大学を卒業後、桐朋学園大学研究科終了。ロスヴィタ・シュテューゲ氏のマスタークラス終了。ながの・アスペン・ミュージックフェスティバル終了。第6回フルートコンヴェンションコンクール(アンサンブル部門)優勝。フリートとしてソロ、室内楽などで演奏活動し、2005年3月ながので開催されたスペシャルオリンピックスで演奏、好評を博す。フルート三重奏 tre*fle (トレフレ)の一員として、アンサンブルによる独自の音色を追求。

江守 幸一

えもり ゆきかず

トランペット/作曲。国立音楽大学卒業。北野善廣・祖堅方正氏に師事。大洋音楽院、藤ゴダイゴ、徳リットーミュージックにて音楽制作・著作権管理・楽譜出版業務に携わり、その後Musical Plan Ltd.を設立。コンピュータミュージック・ツールの開発普及に務める。楽団ハイカラモンキーズの代表。「教春の世界」では、「海の幸」用に編成・編曲した音楽合奏団「SACHIアンサンブル」を率いて邦楽とのコラボレーションに臨む。

◆SACHIアンサンブル
トランペット:江守 幸一
オーボエ:宮下 奈美
ホルン:高岡 舞
トロンボーン:宮川 俊徳

藤倉 寿鳳

とうらくじゆうほう

三歳から日本舞踊を学び、十七歳で藤間流の名取に。その後、日本の古典音楽における「ま」を学ぶため藤倉呂鳳師に入門。囃子の世界に入る。昭和五十八年、五世家元 藤倉呂鳳師より藤倉寿鳳の名を許される。現在は囃子の稽古を続ける一方で、長唄を軒屋佐喜師に師事。ますます日本の古典音楽の魅力にのめり込んでいる。

平成30年12月2日(日) 14:00開演(13:30開場)
長野市 若里市民文化ホール(長野市若里3丁目22番2号) 入場無料

後援: SBC信越放送 信濃毎日新聞社 長野市民新聞社 長野市教育委員会 倉沢音楽教室
お問合せ: 跡部教春 090-5553-6540 kyosyun@biscuit.ocn.ne.jp